遠距離操作 電動スクリーン

[WRFシリーズ]
取扱説明書

この度は遠距離操作電動スクリーンをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
本製品を正しくお使いいただくために、ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をお読みください。
お読みになった後は、いつでも読むことのできるところに大切に保管してください。

⚠ リモコンの初期設定をしないと動作しません ※設定方法は別紙参照

設置前の注意点

■ サイドブラケットの取付け方法について

重量があるスクリーンの設置となりますので、必ず下地が必要です。
サイドブラケットを取り付ける面（天井・壁）の下地はその設置場所において石膏ボード、木材、コンクリート等 いろいろなケースが考えられます。

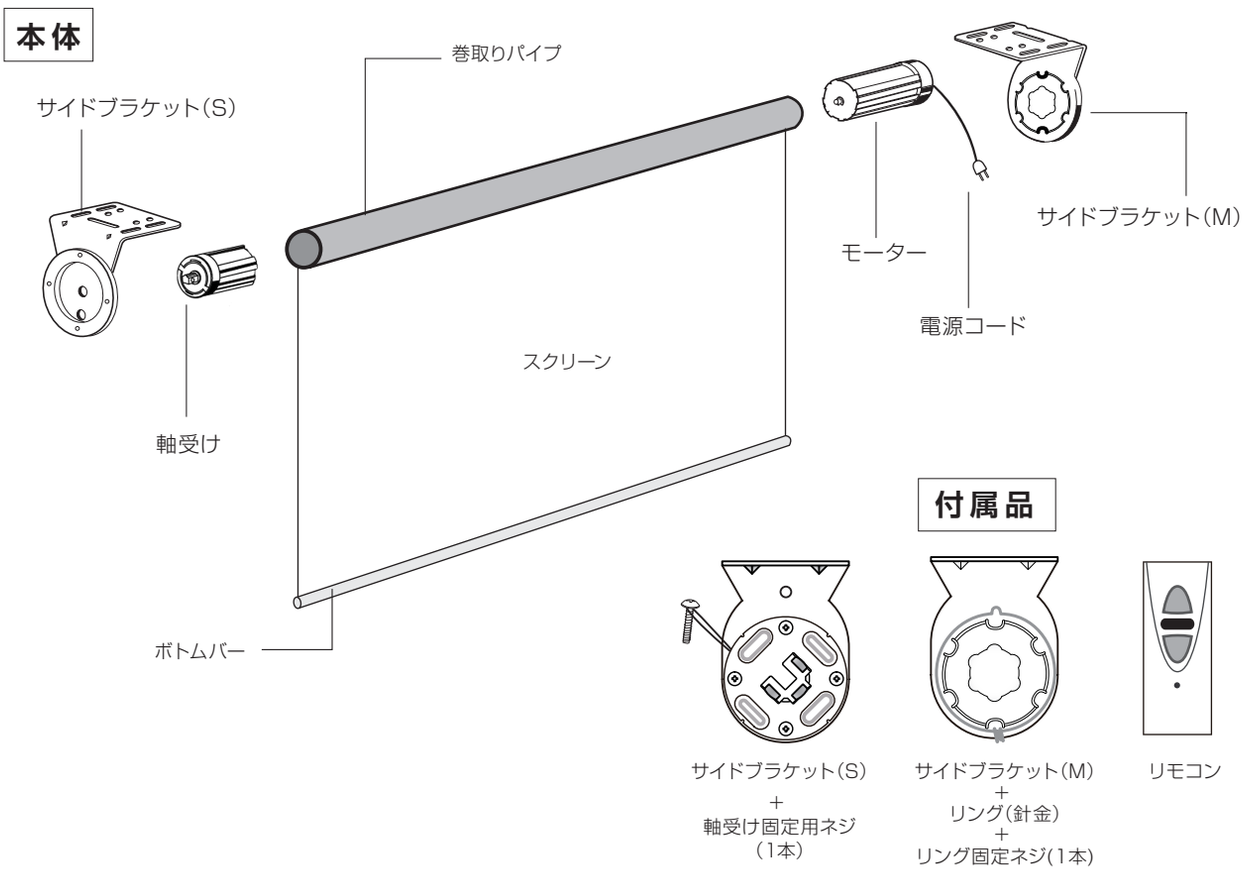
・サイドブラケットを固定するネジは同梱されておりません。
・設置施工者は設置面下地をご確認の上ご自身の判断において、必ず適切なビス、あるいはアンカーなどを使用して確実に固定できるよう取り付けてください。
・製品設置に関して自信のない方は、大工さん・電気屋さん・内装業者など専門業者に依頼することをおすすめします。

■ 下地についての注意点

石膏ボードを材料とする面へのスクリーン設置は、落下の原因となるため取り付けできません。
石膏ボードアンカーも落下の危険があるので使わないで下さい。
取り付ける場合には、石膏ボード裏の強度ある下地部分にネジを留めるようにして下さい。
下地として、厚み 12mm 以上のベニヤ板を仕込んでおくと取り付けできます。

Theaterhouse
株式会社 シアターハウス
〒910-0124　福井市天池町32-6
TEL 0776-56-0325 / FAX 0776-56-2647
e-mail shop@theaterhouse.co.jp

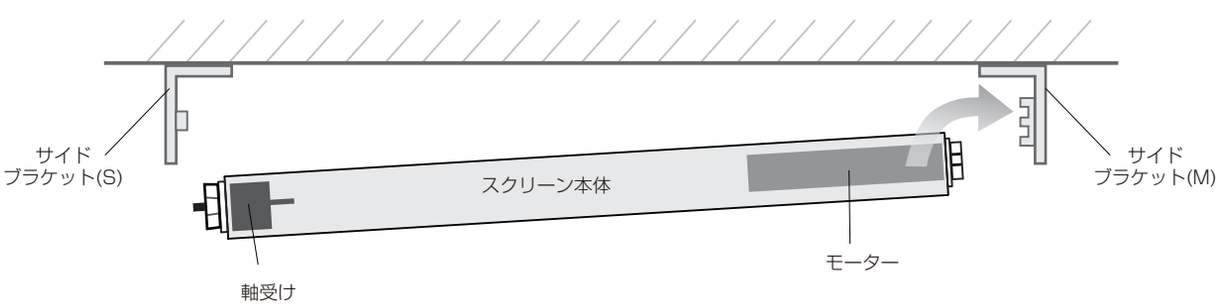
1　製品各部の名称



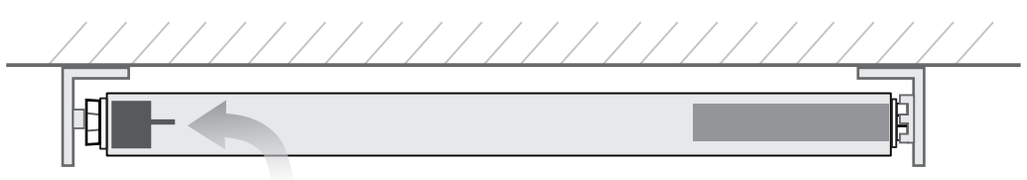
2　スクリーン設置方法（取付けの流れ）

まず最初に2種類のサイドブラケットを天井または壁に固定した後、モーター側(サイドブラケットM)からスクリーン本体を取り付け、次に軸受け側(サイドブラケットS)に取り付けます。

①モータ側に取り付け



②軸受け側に取り付け

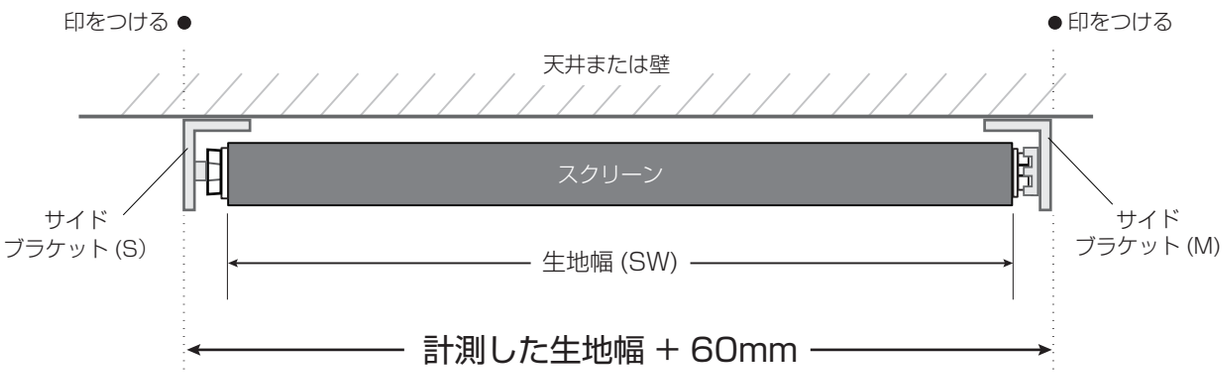


2 スクリーン設置方法（サイドブラケットの取付）

サイドブラケットの取り付け

① サイドブラケットの取り付け位置を決める

スクリーン設置場所の下地を確認し、サイドブラケット取付位置に鉛筆などで印を付けます。
スクリーン生地幅（SW）を計測し、＋ 60mm （サイドブラケット部分）が取付位置となります。

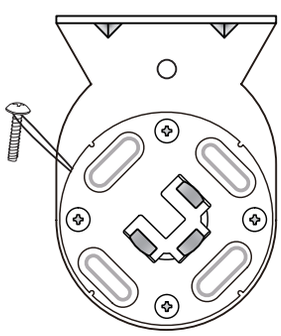


※スクリーン生地幅（SW）はホームページからもご確認いただけます。

② サイドブラケットの確認をする

製品に同梱されているサイドブラケットは2種類あります。
取り付けの前にサイドブラケットの「M」(モーター側)と「S」（軸受け側）を確認してください。
サイドブラケット（M）をスクリーンに向かって右側に、サイドブラケット（S）をスクリーンに向かって左側になるよう設置してください。

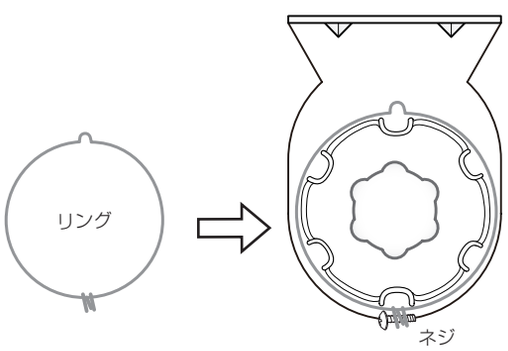
サイドブラケット(S)には、軸受け部を固定するための
ネジが一緒になっています。



サイドブラケット（S）

スクリーンに向かって**左側**に取り付ける（軸受け側）

サイドブラケット(M)には、モーター部を固定するための
リングとネジが付いています。
（リングは外さずにサイドブラケットを取り付けてください。）



サイドブラケット（M）

スクリーン向かって**右側**に取り付ける（モーター側）

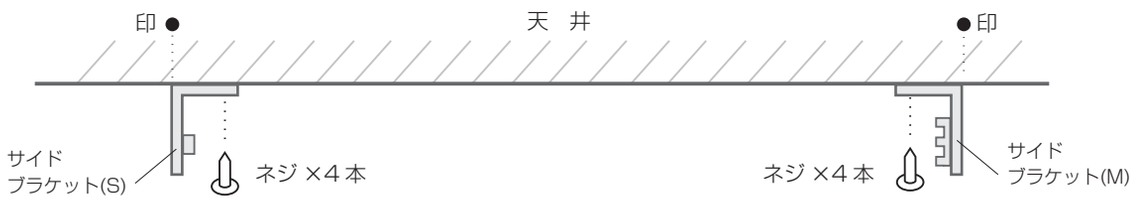
2　スクリーン設置方法

③ サイドブラケットを取り付ける

①で付けた印の位置にサイドブラケットを固定します。ネジ穴が4箇所ずつあります。
サイドブラケットのM、Sを確認し、しっかりと固定してください。

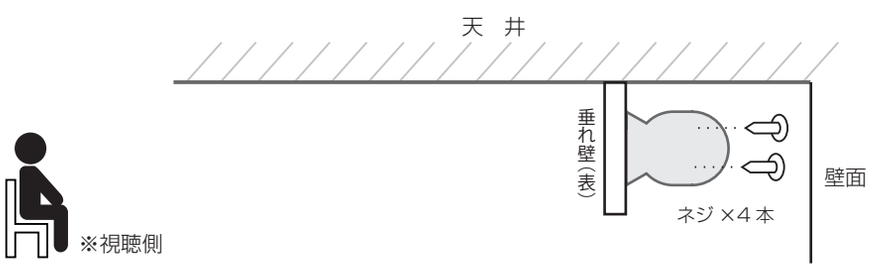
※ブラケットを固定するためのネジは同梱されておりません。取付場所にあったネジをご準備ください。

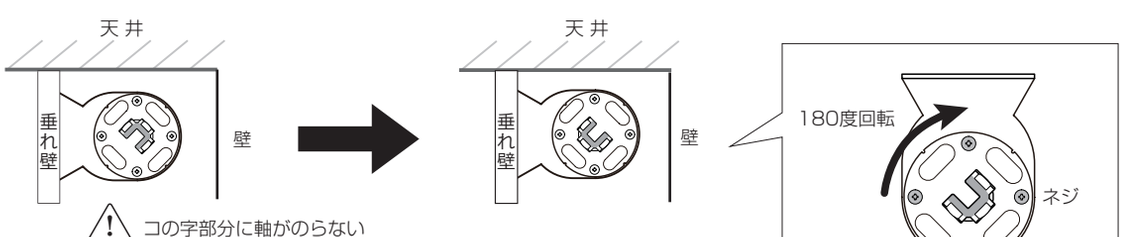
天井付けの場合



壁付けの場合

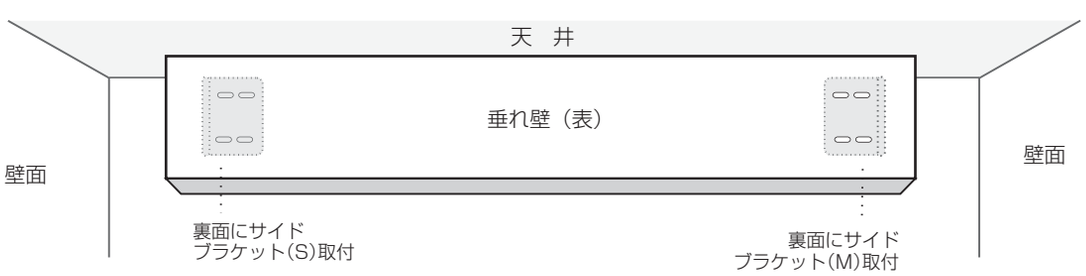
垂れ壁の場合





垂れ壁裏面に設置する場合、サイドブラケット(S)のコの字部分が下向きなっているため、そのままではスクリーンの取り付けができません。サイドブラケットの丸ネジ(4箇所)を外して、コの字部分を180度回転させてください。

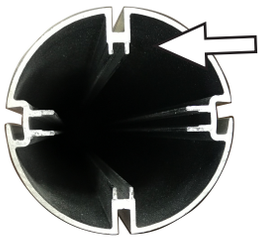
コの字部分が上向きになるよう
ネジを外して180度回転させます



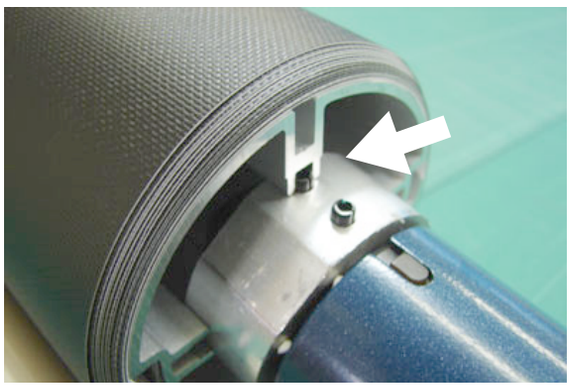
3　スクリーンの取り付け

① モーターを巻取りパイプに組み込む

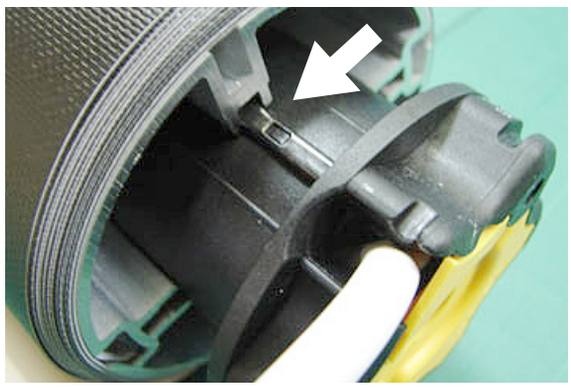
別箱にあるモーターを、スクリーンに向かって右側から巻取りパイプに挿入します。
パイプ内部の細い溝にモーター先端の突起部（リブ）を合わせて差し込みます。



巻取りパイプ内部



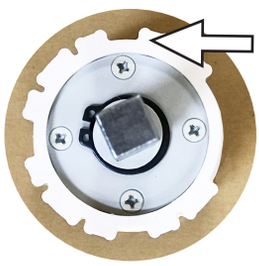
モーター挿入時 最初の部分



モーター挿入時 最後の部分

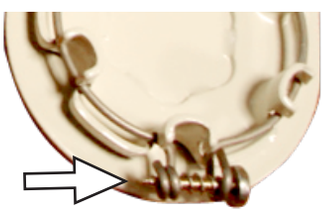
② 軸受けを巻取りパイプに組み込む

次に軸受け部分を巻取りパイプの左側に挿入します。
軸受け部分の細い溝とスクリーンパイプ内側の細い突起部分に合わせて差し込みます。



軸受け側面

③ サイドブラケット（M）側にスクリーンを固定する



サイドブラケット (M)

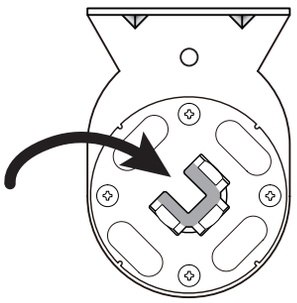
まず先にモーター側をサイドブラケット（M）の取り付けます。
サイドブラケット（M）にモーターの軸を挿し込む前に、サイドブラケット（M）のリング（針金）に付いているネジを外してください。

リングを手で軽く開き、モーターの溝とサイドブラケット（M）の溝が合えば、パチッと音をたて、リング（針金）がモーターの溝に引っかかり取り付けができます。
この時に、電源コードが上向きになっていると仕上がりがきれいに見えます。
最後に、取り外したネジでリング（針金）を固定してモーター側の取り付けは完了です。

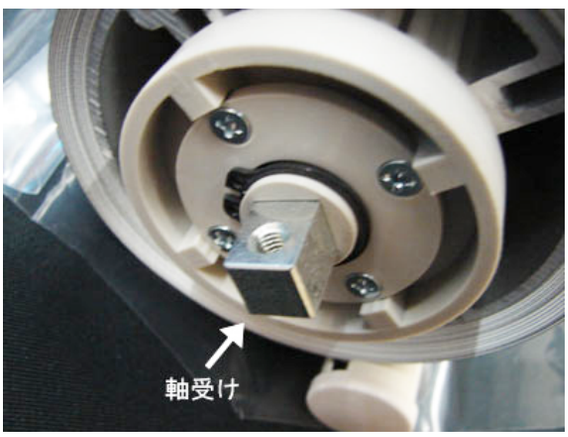
3　スクリーンの取り付け

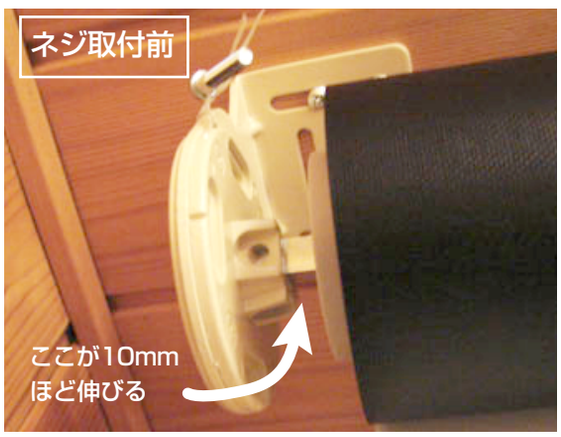
④ サイドブラケット(S)側にスクリーンを固定する

設置したサイドブラケット(S)のコの字部分に、スクリーン本体軸受け(左側)を乗せ、ネジ穴の位置を合わせます。
設置したサイドブラケット(S)のネジ穴と軸受け部分のネジ穴が合わない場合は、軸を少し伸ばして調整してください。



サイドブラケット（S）





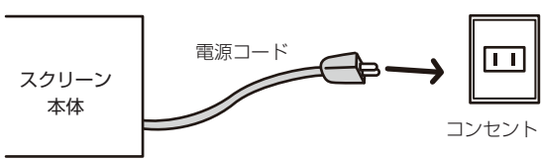
> ⚠ **注 意**　軸受けは約10mmほど伸びるようになっています。サイドブラケット(S)に軸が確実に乗るように軸を調整してください。

⑤ 付属のネジでスクリーンを固定する

サイドブラケット(S)とスクリーン本体を付属のネジでしっかり固定したらスクリーンの取り付けは完了です。

4　電源コードの取り付け

スクリーンの取り付けが完了したら、コンセントに電源コードを差し込んでください。
スクリーンに向かって右側にコンセント(100V)をあらかじめご用意ください。
※電源コードの長さは900mmとなっています。



注 意　**スクリーンを設置し、電源コードを入れたらリモコンの初期設定を行ってください。**
※別紙参照

6　故障かな?と思ったら

スクリーンが動かない　※まずは下記の項目をご確認ください。

・電源プラグを抜き差しする。
・リモコンの電池の向きを確認する。
・リモコンの電池を新品に交換する。
・電源コンセントが使えるか他の電化製品で確かめる。
・リモコンボタンを押したときに赤く点滅する。

セットモードに入らない

工場出荷時には30cm程度下降して自動停止するようになっております。
リモコンのアップボタンを押し、スクリーンがそれ以上巻き上がらない事を確認してから(自動的に止まるまで待ちます)アップボタン・ダウンボタンを同時に5秒間押し上限SETモードに入ります。

リモコンの連続操作について

リモコンは、省電力モードの関係で、5秒以上連続して操作することができません。
5秒間連続してボタンを押していると信号が2秒だけ切れるようになっております。故障ではございませんので安心してご利用ください。

2、3回程度の上げ下ろしなどでは問題ありませんが、スクリーン昇降操作を短時間で何度も行いますと、ボタンを押してもスクリーンが動作しなくなる場合があります。
モーター保護回路が働くためで、モーターが焼け焦げることがないよう、ある一定の温度になると停止するようになっております。その場合、30分ほどおく事で元通りに動作するようになります。

動作中に音がする　※音には、いくつか種類がございます。下記をご確認ください。

共　鳴　音　共鳴音であれば、スクリーン本体のモーターを触ると音がなくなります。
スクリーンを取り外しブラケットのネジを締めなおしたり、振動が壁を伝わり他の家具が共鳴している可能性もございます。ご確認ください。

7　製品修理と張替えサービス

修理のご依頼について

修理お問い合わせの前に症状の対処方法をご確認ください。
※ 詳しくはホームページ内、総合サポート「修理のご相談について」をご覧ください。

問い合わせ(メール・電話) ➡ 商品取り外し・発送 ➡ お見積り ➡ 修理代金決済 ➡ 修 理 ➡ 商品返送

※商品の取り外し・再取り付けにかかる費用・商品返送の運送便手配については、お客様側での対応となります。

スクリーン生地の張替サービス

ご購入後10年以内であれば、スクリーン張替え(幕面交換)サービスが受けられます。(有償サービス)
※ 詳しくはホームページ内、総合サポート「スクリーン生地の張替サービス」をご覧ください。

安全上のご注意

安全上に関する重要な内容ですのでよくお読みの上、必ずお守りください。誤った使用をした場合、事故により使用者が重傷を負う危険性があるものを「警告」、傷害を受けたり物的損害の発生が想定されるものを「注意」として明記しています。

⚠ 気をつける必要があることを表しています。

🚫 してはいけないことを表しています。

警告⚠

🚫 禁止	・この製品は非防水です。浴室や屋外等の湿気、水気の多い場所での使用はできません。 感電や絶縁不良の原因になります。 ・分解・改造は絶対にしないでください。感電や故障の原因になります。
⚠ 注意	・取り付けは製品重量に耐える場所に本取扱説明書に従って確実に行ってください。 落下時によるけが・故障の原因になります。

注意⚠

🚫 禁止	・ コンセントの取付工事が必要な場合は必ず工事店、電気店(有資格者)に依頼してください。 一般の方の工事は法律で禁止されています。 ・ コンセントを使用せず圧着端子による接続はしないでください。 万が一の非常時に取り外しができません。 ・ この製品はモーターの力で昇降します。急激な手動での作動はしないでください。 モーター・ギヤの故障の原因となります。
⚠ 注意	・ この製品は屋内専用です。室温0～40度の範囲内で使用してください。 サウナ、湯沸かし器近く、ボイラー室等では仕様しないでください。 ・ 器具やスクリーンをシンナー等の揮発剤の物で拭いたりしないでください。 変型や割れ、変色の原因となります。 ・ ボトムバーやスクリーンに物を吊るしたり貼らないでください。 重荷が大きくなり、上昇・停止ができなくなります。 ・ スクリーンの昇降する範囲に障害となるものや破損するような物は置かないでください。

製品仕様・保証

仕　様　電　圧	AC100V　50Hz / 60Hz
モーター回転数	50Hz 28R.P.M　/ 60Hz 32R.P.M
消　費　電　力	(モーター回転時) 最大 115W

取扱説明書、本体添付ラベルなどの注意書きに従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、ご購入から10年間の間、無償保証とさせていただきます。

保証の免責事項

保証期間内でも次の場合には原則として有料とさせていただきます。

(1) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
(2) 当社の取扱書カタログ等に記載されている使用条件環境の範囲を超えた使用による故障及び損傷
(3) 当社指定以外の他社商品との特殊な組合せ及び使用による故障及び不具合
(4) 施工上の不備に起因する故障及び不具合
(5) お買い上げ後取付け場所の移設輸送落下などによる故障及び損傷
(6) 火災地震水害落雷異常電圧指定外の使用電源(電圧周波数)公害塩害、ガス害(硫化ガスなど)による故障及び損傷
(7) 車両船舶などに搭載された場合に生ずる故障及び損傷
(8) 法令で要求される保守点検を行わないことによる故障及び損傷
(9) 日本国内以外でのご使用による故障及び損傷
(10) 経時変化によるスクリーン生地の日焼け、汚れ、ホコリなど